

ツートハンドルシャワーバス水栓

取扱説明書

このたびは当社商品をお買い求めいただき
誠にありがとうございました。

ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後もすぐ取り出せる場所に大切に保管してください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が生じた場合、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方にこの説明書と保証書をお渡しください。

もくじ

安全上のご注意	1
各部の名称	3
ご使用方法	4
ご使用上の注意	5
冬期凍結の恐れがある場合	8
お手入れ	8
修理を依頼される前に	9
アフターサービスについて	10
保証書	裏表紙

●安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

用語および記号の説明

注意……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」



……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）



……「分解してはいけません！」



……「指示した場所に触れてはいけません！」



……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

注 意

給水圧力は必ず給湯圧力以上にしてください。

※正常な調節ができなくなり、ヤケドをする恐れがあります。



お使いになる前に、お湯の出る側がシャワー側か吐水口側かシャワー・バス切替ハンドルで確認してからお湯をお使いください。

※間違えるとヤケドをする恐れがあります。



シャワーをお使いになる前に必ず素手で適温であることを確かめてください。

※高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



⚠ 注 意

お湯をお使いになるときは、必ず水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。
※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出し、ヤケドをする恐れがあります。



水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。



高温の湯をお使いのときには、吐水口（パイプ）は高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。



お湯を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。
※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。
※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。



ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
※同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。
※圧力変動の影響を受けにくい水栓としてサーモスタット付混合水栓をおすすめします。



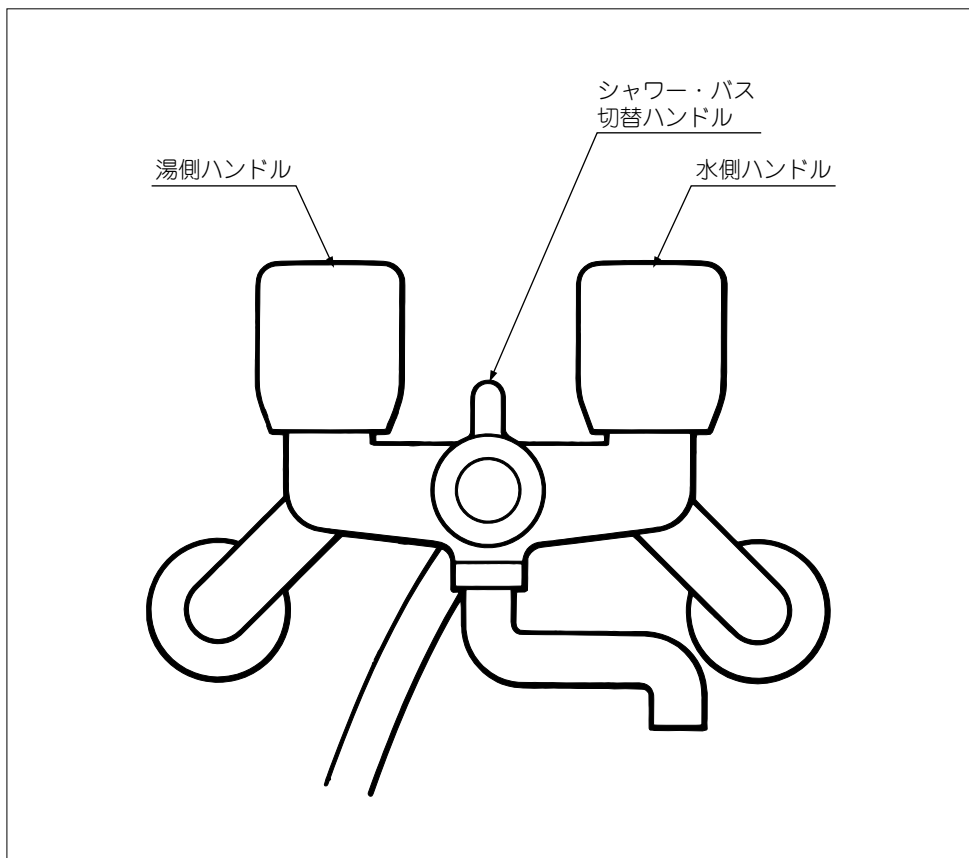
凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。（寒冷地仕様の場合）
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。



修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



●各部の名称



●ご使用方法

●吐出量・温度の調節

ハンドルに付いている青と赤の表示は、それぞれ水と湯を表しています。

シャワー・バス切替ハンドルが吐水口側にあるのを確認してから、水側ハンドルを最初に開き、次に湯側ハンドルをゆっくり開いて適温適量にしてください。

※湯側ハンドルを最初に開くと高温の湯が出るため危険です。

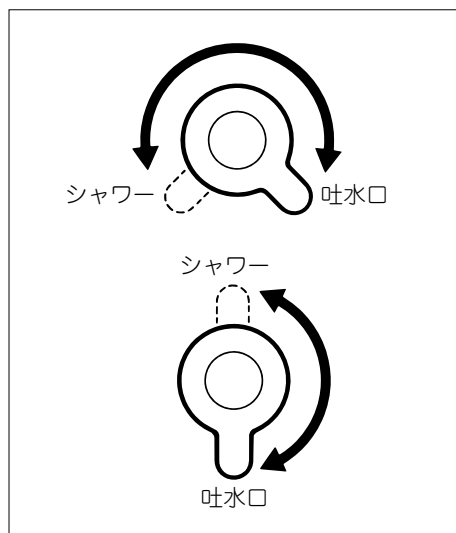
●シャワー・バスの切替え

シャワー・バスの切替方法は3タイプあり、切替方法は次の通りです。

※給湯圧力が低く、給湯圧力と給水圧力の差が大きい場合は、吐水口とシャワーを切り替えたときに、温度が変わることがあります。もう一度、温度の調節を行ってから使用してください。

〔一般タイプ〕

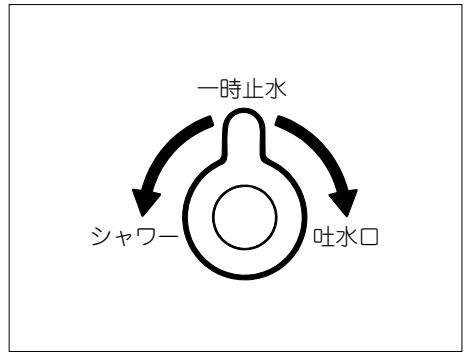
吐水口（バス側）使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを右へ、シャワー使用のときは左へ回してください。



〔一時止水タイプ〕

シャワー・バスの切替方法は一般タイプです。

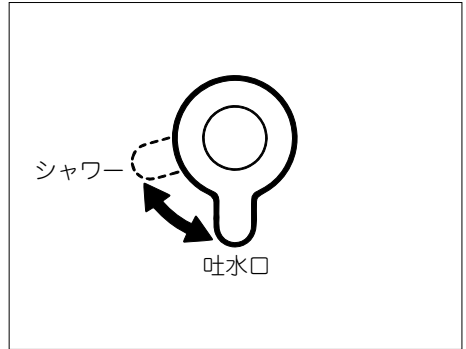
吐出を一時的に止めるときは、シャワー・バス切替ハンドルのレバー部を上向きにします。



〔自動復帰式タイプ〕

吐水口使用のときは、シャワー・バス切替ハンドルを左へ、シャワー使用のときは吐出状態で右に回します。

※シャワーを止めると自動的にシャワー・バス切替ハンドルがバス側に切り替わりますので、次に使用するとき、シャワーを浴びません。



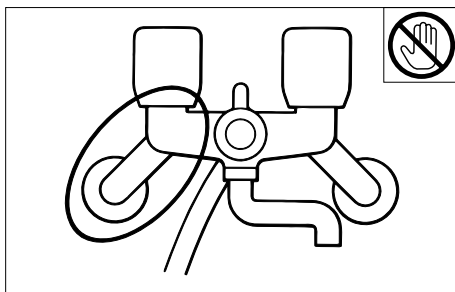
●ご使用上の注意

●ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合

- 比例制御式の給湯器の設定は、温度調節を高温にしてください。
- 能力切替付の給湯器では、能力を季節に合わせてご使用ください。
※吐出量を絞って使用すると給湯器が着火しない場合があります。
- 給水圧力が低いときや水温が高いときは、給湯器が着火しない場合があります。

このときは、給湯器の設定温度（能力切替付は能力）を少し下げてください。

- 水栓の左側は給湯側のため高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。



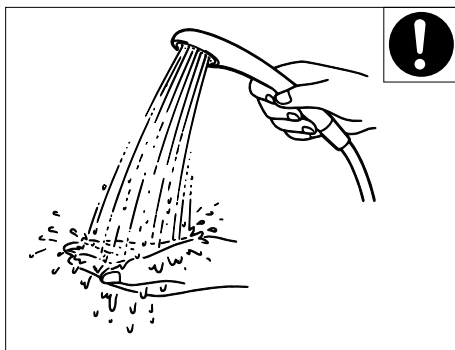
- お湯をお使いになるときは、必ず水側から開栓してください。その後ゆっくり湯側を開栓し、お好みの温度に調節してください。
※湯側から先に開栓すると高温の湯が吐出しヤケドをする恐れがあります。



- お使いになる前に、お湯の出る側がシャワー側か吐水口側かをシャワー・バス切替ハンドルで確認してからお湯をお使いください。
※間違えるとヤケドをする恐れがあります。



- シャワーをお使いになる前に必ず手で適温であることを確かめてください。
※高温の湯が出てヤケドをする恐れがあります。



- 高温の湯をお使いのときには、吐水口（パイプ）は高温になっています。金具の表面に直接、肌を触れないようにしてください。
※ヤケドをする恐れがあります。



- お湯を止めるときは、必ず湯側のハンドルから閉めてください。
※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。
- 高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。
※次に使用すると水栓内に滞留した高温の湯が出て、ヤケドをする恐れがあります。
- ハンドル操作の急閉止は配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 他所の水栓の同時使用等により圧力変動が起こり、お湯の使用中に湯温が急上昇することがあります。
※同時使用のないように注意しないとヤケドをする恐れがあります。
※圧力変動の影響を受けにくい水栓としてサーモスタット付混合水栓をおすすめします。
- 凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を行ってください。(寒冷地仕様の場合)
※凍結破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
- 修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。

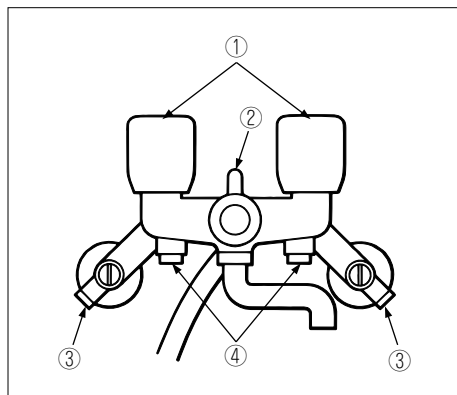


●冬期凍結の恐れがある場合

(寒冷地仕様の場合)

凍結が予想される場合は、次の手順で水栓の水抜きをしてください。

1. 配管の水抜き栓を操作する。
2. 湯側ハンドル、水側ハンドル
①を開ける。
3. シャワー・バス切替ハンドル
②を吐水口側に回す。
4. 取付脚の水抜き栓③（2ヶ）を開ける。
5. 本体の水抜き栓④（2ヶ）を開ける。



6. シャワー・バス切替ハンドル②をシャワー側に回す。
7. シャワーヘッドを振って水をよく切り床に置く。

※再通水前には水抜き栓③④を閉めてください。

※機種によっては、水抜き栓③④が付いていない場合があります。

このときは、4、5の操作は不要です。

●お手入れ

いつまでもご愛用いただくために普段のお手入れは、次のことに注意してください。

- 汚れは乾いた柔らかい布でふきとってください。それでも落ちないときは水ぶきし、最後にからぶきしてください。
- 水栓の表面を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - クレンザー、磨き粉等の粒子の粒子を含んだ洗剤
 - 酸性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシ等
 - シンナー、ベンジン等の溶剤
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、タイルおよび水栓を十分水洗いしてください。

●修理を依頼される前に

簡単に故障が直る場合がありますので修理を依頼される前に下記項目をご確認ください。

●吐出量が少ないとき

1. 整流口のカゴ詰まりがないことを確かめてください。(整流口付の場合)
※「整流口の掃除」の項を参照ください。
2. ガス給湯器と組み合わせてご使用の場合、能力切替付のものでは適正能力にセットされていることを確かめてください。

●希望の温度が得られないとき

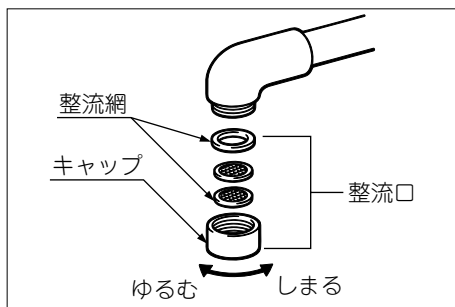
1. 整流口のカゴ詰まりがないことを確かめてください。(整流口付の場合)
※「整流口の掃除」の項を参照ください。
2. 給湯器から十分な温度のお湯がきていることを確かめてください。

●整流口の掃除

整流口のカゴ詰まりは機能を低下させます。

ときどき次の要領で掃除してください。

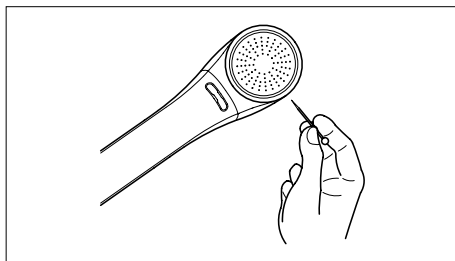
手でキャップを回し整流口を取り外し、整流網を水で掃除してください。



●散水板の掃除

シャワーの穴を針などで刺して、目詰まりを取ります。

※散水板の取外しが可能なタイプは、散水板を取り外した上で目詰まりを取ることをおすすめします。



※上記処置で故障が直らない場合は取扱店またはLIXIL修理受付センターへご相談ください。

●アフターサービスについて

1. 修理サービスを依頼される前に

「修理を依頼される前に」の項(P.9)を参照して確認してください。

⚠ 注意

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。
※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。



2. 保証書と保証期間

この商品は保証書がついています。保証書は、取扱店で所定事項を記入してからお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間は**取付けの日から2年間**です。

保証期間内でも有料になることがありますので、保証書の記載内容をよくご確認ください。

3. 修理を依頼される時

《保証期間中は》

- 修理に際しては、保証書をご提示ください。
- 保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

《保証期間が過ぎているときは》

- 修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料にて修理させていただきます。

《修理料金は》

- “技術料” + “出張料” + “部品代” で構成されています。

《連絡していただきたい内容》

- | | |
|-------------------------------|-----------|
| 1. ご住所、ご氏名、電話番号 | 2. 商品名 |
| 3. 品番(商品に表示、「各部の名称」の項(P.3)参照) | 4. ご購入日 |
| 5. 故障内容、異常の状況 | 6. 訪問ご希望日 |

4. 部品の保有期間について

当社は商品の補修用性能部品(商品の機能を維持するために必要な部品)を製造打切り後最低10年保有しています。この**部品保有期間を修理対応可能の期間とさせていただきます**。保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますのでご相談ください。

5. アフターサービス等についておわかりにならないとき

《修理のご依頼は》お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで(ホームページアドレス<http://www.lixil.co.jp/support/>)

TEL ☎0120-179-411 受付時間9:00~20:00 **365日受付**

FAX ☎0120-179-456

《使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問合せは》

お客さま相談センターまで

TEL ☎0120-179-400 受付時間 平日 9:00~18:00

FAX ☎0120-179-430 土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS・IP電話などではご利用できない場合がございます。下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

当社は、当社取扱商品のユーザーさま及び流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社プライバシーポリシーに記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社ホームページの「プライバシーポリシー」をご覧ください。

